



# 神宮寺便り

## 3月の神宮寺

3月6日 19時  
神宮寺学ぶ会  
(法事のマナー講座)  
¥500

3月29日  
こと/龍の宴  
(篠笛演奏会)  
開場18:30  
¥1000~3000

## 4月の神宮寺

4月3日 19時  
神宮寺学ぶ会  
(花まつり)  
¥500

お問い合わせは  
892-3335 まで

朝晩はまだ冷えますが、日中はだいぶ暖かくなってきました。さて、今月二十一日にお彼岸を迎えます。昔から「暑き寒さも彼岸まで」と言われており、彼岸を超えれば、いよいよ暑い春(夏?)です。

この様に、季節の変わり目でもありますが、同時に大切な仏教行事でもあります。今回は、お彼岸についてお話しします。

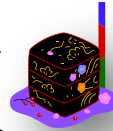
**お彼岸** 良啓

お彼岸は年に2回、春と秋にあります。それぞれ春分・秋分の日を中日とし、前後各三日間を合わせて7日間です。日本独自の習慣で、ご先祖様に感謝する仏教行事となっています。

春分(秋分)は、太陽が真東から昇り、真西に沈みます。仏教では、生死の海を渡って到達する悟りの世界を彼岸といい、その反対側の私たちがいる迷いや煩惱に満ちた世界を此岸(しがん)といわれています。そして、彼岸は西(有名な極楽浄土が西方にあると信じられています)に、此岸は東にあるとされており、太陽が真東から昇って真西に沈む秋分と春分は、彼岸と此岸がもつとも通じやすくなるかと考え、先祖供養をするようになりました。

本土では、お彼岸にお墓参りをする習慣があります。沖縄では、四月の清明祭でお墓参りをする習慣が根強くあり、お彼岸にお墓参りをする習慣がありません。

その代り、お仏壇にたくさんのお供物や重箱を並べます。特に決まった供物はありませんので、日頃お世話になっているご先祖様に感謝の意を込めて、ご馳走をお供えしましょう。



## 弘法大師のことば

裕俊

もし仏の智恵の眼をもって、私と生きとし生ける物(衆生)とのかかわりをよくよく観察すると、この宇宙に存在する全ての衆生は、みな私の親兄弟である。われわれは一人で生きているのではなく、生かされているのである。

人は大人になると、一人で生きていけるかのように思い上がってしまう事があります。しかし、大人になるまでは親に育てて頂いたのですし、大人になっても仕事で上司や同僚に助けってもらう事もあるでしょう。その事を忘れ、「自立」してしていると勘違いしてはいけません。周りの人への感謝の心を忘れずに生きていきたいですね。

教王経開題(定四・九七)

## 今月のお茶 「東方美人茶」 奈緒子

東方美人茶は台湾で作られている発酵度の高い烏龍茶で、味はまるで紅茶のようで甘みがあります。

6月頃にウンカという虫に茶葉を噛ませ、自然発酵を発生させる独特の栽培方法で知られています。また、ウンカを使った製法の結果、無農薬栽培のお茶としても人気があります。

台湾の中でも有名な産地は、客家人の里北埔郷、台湾仏教の聖地である獅頭山、などが知られています。獅頭山には沢山の寺院があるそうです。そんな仏教の聖地の風景を思い浮かべながら頂くのも素敵ですね。

※こちらで紹介したお茶は毎月、「神宮寺学ぶ会」にて提供させて頂いております。台湾産東方美人茶(無農薬)をご提供。